

2022年3月6日 主日礼拝 〈誕生祝福式〉

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌397番「とおきくにや」(見よ私は新しいことをする)
(あなたは愛されるため生まれた)

3つの愛・365日の信仰宣言

聖 書 ①② ルカによる福音書6章31～35節 (P94)
③ ヘブル人への手紙12章1～7節 (P356)

音 楽 ミント・フレイバース(V)

誕生祝福式

メッセージ ①②「受ける報いは大きい」 森屋幹副牧師
③ 「イエスを仰ぎ見つ走ろう」 大川従道主任牧師

賛 美 「成したまえなが旨」(聖歌295番) 献金
(東日本大震災のため)

頌 栄 「み手の中で全ては変わる感謝に」アーメン
祝 禱

「すべての人と相和し、また、自らきよくなるように努めなさい。
きよくなるなければ、だれも主を見ることはできない。」

(ヘブル十二の十四)

【大和ニュース】

☆大川牧師は久々の宣教旅行。二人三脚。沖縄県内8ヶ所。お祈りください。

・ 本日 J.Plus(青・学・中高生)、プレミアムクワイア(16時半)、第4礼拝(18時:船山師)。

◎日系アメリカ人宣教師のジェイソン先生ご一家は、近々新天地へ御出発です。

・ 今週の祈禱会も大切に！①水曜19:30 ②木曜10:30 説教は坪井副牧師。

証人は三畑元長老(1958年5月25日受洗 相模川にて)。

・ 金曜、エステル会[Zoom](10時)。土曜、掃除(12時)、聖歌隊(13時半)

・ 先週の礼拝は1395人(内YouTube ライブ939人)。祈禱会は415人(内YouTube ライブ268人)

石の枕

先週、私の敬愛する文学者「李御寧(イーオリョン)」先生が主のもとに召された。日本通としては、韓国ナンバーワンの学者といえる。新聞で召天の報を知って、あわてて、手もとにある2冊の本を読みまくった。『蛙はなぜ古池に飛びこんだか』—「俳句」と日本人の発想(学生社出版)。『「縮み」志向の日本人』。

いづれも超すぐれた日本評である。

私大川は、俳句を味わうのが好きである。それはこの2冊を読んでからである。その教えの気品の高さは、全く追いついていけない香りがある。(俳句研究のために、木曜夜のテレビの俳句番組を観るのだが、その品格のなさについていけなくなった。真面目に夏木先生の本も数冊買ったのだが…。)

『「縮み」志向の日本人』(講談社文庫)の紹介文は分かりやすい。

日本人がはじめて開発し、世界に送り出した商品は扇子であった——。卓抜な視点で日本人の「縮み志向」を鮮やかに説き、日本文化の本質や日本が工業化社会のトップに躍り出ることができた秘密を明快に分析する。「拡がり」に弱い日本的特性も指摘して、数ある日本人論の中でも最高傑作といわれる名作。

彼は数年前、日本のある大会場の隣の部屋で、河ヨンジョ牧師から洗礼をお受けになられた。背後には熱心なキリスト者である御家族の祈りがあった。

大の日本通の大学者が、なんと日本で受洗されたのである。あの日のことは忘れない。いつかゆづり、お話をうかがいたいとずーと願っていたのだが、残念である。天国での再会を楽しみにして待つことにする。

縮み志向の日本人が、あのウォークマンをつくり、世界をアツと驚かせ、芭蕉のあの鳴かない蛙と同じ飛び込みをやってのけたのだ。

最小の茶室を作りたいと望んだばかりでなく、利休はそこに入る入口までも縮めて「にじり口」を作ったのです。武士も刀をさしたままで入っていくことはできません。和敬清寂は他でもない。この「縮みの演出」によってのみ実現するのです。

「狭い門から入れ！」の教えであろうか。(やっぱり話してみたかった。)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:マルコ11章~14章 Bコース:申命記1章~19章